

## 平成 29 年度 第 1 回文化財保護審議会会議録

日 時：平成 29 年 6 月 29 日（木）13:30～16:30

場 所：飯山市ふるさと館 学習室

参集者：委 員 吉越委員、平野委員、浦山委員、丸山委員（欠席：樋口委員）

事務局 長瀬教育長、栗原文化振興部長、佐藤市民学習支援課長、藤本文化財係長、  
文化財係宮澤、丑山

傍聴人：なし

### 1 開会

（市民学習支援課長）

### 2 あいさつ

（会長）

五月の市報に飯山城の石垣整備について広報してもらいましたが、文化財は守ることも大事だが、市民の皆様に伝えることもまた大事であると感じた次第です。今日の主な議案としまして、秋津のイロハモミジ（損傷が目立つ：事務局註）の状態についての意見集約と、木百年妻の墓碑の視察をおこないたいと思います。よろしくお願いします。

（教育長）

新しい文化財指定について検討する時期に来ているものと思います。その上で、今日は秋津のイロハモミジを是非皆様に見ていただいて、文化財審議会として今後の方針について結論を出していただくことが学校現場に方向性を示すことになると思いますので、よろしくお願いします。

（委員、事務局自己紹介）

※13:30 から 15:00 まで秋津小学校のイロハモミジ(静間)、木百年妻墓碑(蓮)  
の現地調査を実施

### 3 協議事項

（1）平成 28 年度文化財関係事業報告について

（事務局）

前回（2 月）の審議会で報告済みのため、3 月以降実施の事業についてより説明。資料 1 ページ  
（2）文化財保存管理事業、2 ページ（4）文化的景観保護推進事業の一部、3 ページ（5）ふるさと  
と検定実施等について。

（会長）

委員の皆さんから何か昨年度中の事業についてご意見がありましたらお願いいたします。

（委員）

特に意見なし

(会長)

今年度のふるさと検定については、市内全校実施にむけて校長会でお願いをしました。

(2) 平成 29 年度文化財関係事業計画について

(事務局)

資料 5 ページにより説明

(会長)

29 年度の事業計画について何か意見ありましたらお願いします。

(委員)

特に意見なし

(3) 秋津のイロハモミジについて

(会長)

イロハモミジにつきまして、先ほど視察した上での印象や感想を含め、今後の方向性について委員の皆様からご意見をいただきたいが如何でしょうか。

(委員)

指定された時から比べると痛みが酷く、見る影も無く、驚きました。すぐに折れてもおかしくないように思われます。学校の入り口にあることも含めて、この場で対応についてきっちり決断すべきと思います。

(委員)

イロハモミジが持っている価値は大きいと思いますが、損傷や空洞が目立ち、何時倒れてもおかしくないと思います。学校という場所柄からしても危険性が大きく、そろそろ対応を決断する必要があるのかな、と思いました。

(委員)

地元の方が大事にしてらっしゃるということで、立派な木でもあるので、何とかして残せないものかと思いました。市指定を解除してでも、危険な箇所を切除して残していくことはあり得るのでしょうか。いずれにしても、先端の方は元気のように見えますが、私も専門外ですのでどれだけ木が弱っているのか、どういう状況なのか何とも言えないところではあります。

(会長)

委員の方からは何時倒れてもおかしくないとうことで、そろそろ決断する時期に来ているのではないか、というご意見がありました。今年五月に太い枝が落ちたと連絡がありましたが、私にとってこれは今までで一番ショックな出来事でした。すぐに現場に駆けつけましたが、下に児童がいなくて良かったな、という感想を持ちました。名木であり歴史もあり、地域の皆さんに愛されていて入学式の時に記念写真を撮るような、小学校の心の根っこにあるようなものがイロハモミジだったと思います。しかし形状を見ると、限界かな、決断する時期に来たのかな、と感じています。

(委員)

樹木医に診てもらおう等ということは、可能性として無いのでしょうか。

(会長)

学校沿革史でみると、平成四年に薬剤を注入したり、防水処理を施したりしています。平成九年にも樹木医さんに診てもらったり、造園業者にも診てもらっています。三年ほど前にも樹木医に診てもらっています。

(委員)

その時にはどのような診断結果だったのでしょうか。

(事務局)

相当な手当が必要であるとのことでした。具体的には、根本を囲んでいる道路のアスファルトを処理する必要など、大掛かりな手当が必要とのことでした。

(委員)

これまで大事に保存してきましたが、あの立地ではもう無理ですよ。

(委員)

そういうことであれば、了解しました。

(委員)

大幅に切る必要があるため、指定文化財の現状変更では認められない範囲になると思います。指定解除をして切った方が順序として適当であるかと思います。

(会長)

私もそう思います。

(会長)

委員全体の意見としても指定解除をして切るべき、との方向でまとまりつつありますが、よろしいでしょうか。

(委員)

地元の方々も思い入れが強いのですか。

(会長)

あると思いますので、切る方針になった場合には地元の方々へも丁寧な説明がなければいけないと思います。

(教育長)

切るという方針にもとづいて区長やPTA会長、地区の方々に説明していきたいと思います。

(委員)

切る時は根本から伐採する形になるのでしょうか。

(教育長)

危険性を考えると切らないといけないと思います。

(委員)

上の方だけ枯れているのなら、その所だけで良いのですが、主体の幹があれだけのようになっているので難しいのではと思います。

(教育長)

毎朝、毎夕児童があの前を行き交っていることから、安全を最優先したいので決断して切らねばならないかと思っています。今日、委員の皆様からしっかりとした意見を出していただいたので、これで決定してもらえればと思います。

(会長)

指定解除ということで、事務局もよろしいでしょうか。委員は一致で指定解除ということで、今後は各方面との話し合いながら伐採していくということでよろしいでしょうか。

(委員)

異議なし

#### 4 その他

(事務局)

今年度現状変更等をおこなった指定文化財に関する説明。

- ・小菅講堂床下のコンクリート壁除去に伴う現状変更について
- ・飯山城跡本丸斜面の倒木に伴う棄損届について

#### 5 閉会